

【千代田町】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

1 人 1 台端末や高速ネットワーク、大型提示装置などの ICT 機器を活用することで、児童生徒一人ひとりに応じた「個別最適な学び」と、他者とともに学び合う「協働的な学び」の両面を充実させることができます。

これにより、児童生徒は自らの興味や関心に基づいて主体的に学習を深め、多様な価値観を尊重しながら他者と協働する力を育むことが期待されます。

さらに、教職員の ICT 活用能力や指導力、教育全般に関する資質の向上を図ることで、変化の激しい社会に対応できる資質・能力を備えた人材の育成を進めてまいります。

2. GIGA 第 1 期の総括

文部科学省の GIGA スクール構想に基づき、千代田町では令和 3 年度までに町立小中学校 3 校の児童生徒に対して、合計 1,098 台の 1 人 1 台端末の整備を完了しました。あわせて、高速通信ネットワークや無線 LAN 環境の整備、電子黒板の設置などを進め、ICT を基盤とした新たな学びの確立を進めてきました。

また、学校間や教員間で ICT 活用の格差が生じないよう、「千代田町教育研究所」において ICT 活用の実態や課題を把握し、職員の実態に即した ICT 研修を実施しました。

これらの取り組みにより、ICT 活用が一層進展し、学びの基盤としての ICT の位置づけが確立されました。

3. 1 人 1 台端末の利活用方策

ダッシュボードなどを活用して日々蓄積される各種教育データを教職員が有効に活用することで、児童生徒の興味・関心や習熟度に応じた「個別最適な学び」を実現するとともに、デジタルツールを活用した共同制作やリアルタイムでの意見共有を通じた「協働的な学び」を推進し、1 人 1 台端末を活用したより深い学びの実践を進めていきます。

また、今後も端末の家庭への持ち帰りを推進し、AI 型学習教材などを活用することで、家庭学習の支援をさらに強化します。登校が困難な児童生徒に対しては、希望に応じて 1 人 1 台端末を活用した遠隔での学習支援や個別指導、オンライン学習コンテンツの提供などを行い、学校以外の場所からも学びを継続できる機会を保障します。これにより、児童生徒一人ひとりの興味・関心や習熟度に応じた個別最適な学びを継続的に支援していきます。

ICT 活用は、学びの質の向上や学び方、さらには教職員の指導・支援方法の転換に大きな影響を与えるものです。端末の活用自体を目的化するのではなく、「学びを深めるための手段」として位置づけ、その目的を常に明確にした上で、授業の中で ICT の利点を最大限に生かせるように取り組むことが重要です。そのためにも、ICT 活用の意義と効果について、教職員が十分に理解できるようにしていきます。